

令和6年度 不動産鑑定士 論文式試験

ズバリの中

会計学

問題1 (50点)

次の文章は、有形固定資産の取得原価に関するものである。これに関連して、以下の各問に答えなさい。

a 減価償却の基礎となる有形固定資産の取得原価の決定は、その取得方法ごとに、現行制度上、次のように定められている。

まず、購入による場合は、購入代価に原則として当該資産の取引費用等の〔ア〕を含めることによって決められる。次に、自家建設による場合は、適正な〔イ〕に従って製造原価を計算し、これに基づいて取得原価を算定する。ただし、b これに係る借入資本の支払利息は、原則として製造原価に算入しないものとされている。

なお、現物出資による場合は、対価として用いられた自社の株式の公正な評価額若しくは取得した財貨又はサービスの公正な評価額のうち、いずれかより高い〔ウ〕をもって測定可能な評価額で算定する。

.....(略).....



2024 論文実戦答練 第1回 問題2

次の文章は、「企業会計原則」からの抜粋である。これに関連して、以下の各問に答えなさい。

「資産の取得原価は、資産の種類に応じた〔ア〕の原則によって、各事業年度に配分しなければならない。有形固定資産は、当該資産の〔イ〕にわたり、定額法、定率法等の一定の減価償却の方法によって、その取得原価を各事業年度に配分し、無形固定資産は、当該資産の〔ウ〕にわたり、一定の減価償却の方法によって、その取得原価を各事業年度に配分しなければならない。〔エ〕についても、これに準じて、各事業年度に均等額以上を配分しなければならない。」

- 文中の空欄〔ア〕から〔エ〕までに入る適切な語句を答えなさい。
- 次の①から④の減価償却方法うち、他の減価償却方法と異なる基準で行うものが1つある。その一つを選び番号で答えなさい。
 - 定額法
 - 定率法
 - 生産高比例法
 - 級数法

2024 論文実戦答練 第2回 問題1

次の文章は、「企業会計原則と関係諸法令との調整に関する連続意見書」からの抜粋である。これに関連して、以下の各問に答えなさい。

「固定資産を購入によって取得した場合には、(ア)に買入手数料、運送費、荷役費、据付費、試運転費等の(イ)を加えて取得原価とする。但し、(ウ)がある場合には、(イ)の一部又は全部を加算しない額をもって取得原価とすることができる。購入に際しては(エ)又は(オ)を受けたときには、これを(ア)から控除する。

(1) 文中の空欄(ア)から(オ)までに入る適切な語句を答えなさい。

・・・(略)・・・

2024 全日本論文公開模擬試験 第1回 問題1

・・・(略)・・・

(3) 当社は、建設業を営んでおり、自社で使用する営業所を建設した。この場合、この建物(営業所)の取得原価の決定について、原則的な方法と容認されている方法のそれぞれについて説明しなさい。

2024 必修論点総ざらい講座 第7問

有形固定資産の取得原価の決定に関する以下の各問に答えなさい。

- (1) 購入した場合の取得原価の決定について説明しなさい。
- (2) 現物出資により取得した場合の取得原価の決定について説明しなさい。
- (3) 自家建設の場合の取得原価の決定に関して、原則的な取扱いについて説明しなさい。その上で、容認規定の内容とそれが認められる根拠を説明しなさい。

問題2 (50点)

・・・(略)・・・

- (1) なぜキャッシュ・フロー計算書を作成するのか、簡潔に説明しなさい。
- (2) 次の文章に関連して、以下の各問に答えなさい。

「本基準」には、キャッシュ・フロー計算書が対象とする「資金の範囲は、及びとする。」(第二、一)と規定されている。

- ① 文中の空欄及びに入る適切な語句を答えなさい。
- ② 文中の空欄及びの内容について、簡潔に答えなさい。

・・・(略)・・・

**2024 全日本論文公開模擬試験 第1回 問題2**

・・・(略)・・・

問2

『連結キャッシュ・フロー計算書等作成基準』に基づき、以下の各問に答えなさい。

- (1) 連結キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金の範囲について、簡単に説明しなさい。
- (2) 以下の項目において、連結キャッシュ・フロー計算書において営業活動によるキャッシュ・フローに表示されるものはどれか、三つ選び解答用紙に番号を答えなさい。

・・・(略)・・・